

平成28年度 担い手との意見交換状況取りまとめ

平成29年3月 山梨県農地中間管理機構
(公財) 山梨県農業振興公社

機構では、様々な農業者の方々や関係機関等のご意見やご要望を聞きながら、農地中間管理事業を推進しています。

とくに、農地の受け手である担い手の方々との意見交換により、事業の推進の改善を図りたいと考えています。

担い手の方々からのご意見を情報共有するため、意見交換会の概要を公表します。

○平成28年4月

会 議 名：山梨県指導農業士会総会（主催：山梨県指導農業士会）

意見交換者：山梨県指導農業士

○平成28年4月

会 議 名：山梨県青年農業士会総会（主催：山梨県青年農業士会）

意見交換者：山梨県青年農業士

○平成28年6月

会 議 名：日本農業法人協会山梨県支部総会（主催：日本農業法人協会山梨県支部）

意見交換者：農業法人代表者

○平成28年7月

会 議 名：就農促進会議（主催：(公財) 山梨県農業振興公社）

意見交換者：山梨県指導農業士会長、山梨県青年農業士会長、農業法人代表3名、JA 代表者、農業会議、県関係機関 計16名

○平成29年3月

会 議 名：就農促進会議（主催：(公財) 山梨県農業振興公社）

意見交換者：山梨県指導農業士会長、山梨県青年農業士会長、農業法人代表3名、JA 代表者、農業会議、県関係機関 計16名

●主な意見内容

- ・新規就農者が農地を借りる際の窓口の明確化
- ・新規参入者への安定的な支援のための農地確保方法の周知
- ・中間管理事業のPR不足（特にメリット面）
- ・事業を全ての農家に浸透させる方策の検討
- ・中間管理機構を利用している担い手の方もおり、メリット面についてのご意見も頂きました。

●借受希望者として応募いただいた担い手の方々との意見への対応状況

- ・借受希望者には果樹栽培を希望する方が多い傾向ですが、直ぐに収穫できる樹園地がなかなか見つからないとの意見が多数ありました。
- ・そこで、機構では遊休農地を借り受け、条件整備を行い、果樹苗木を植え付け、収穫できるまでの間（3年程度）育成し、担い手へ貸し付ける事業に取り組んでおり、現在2地域でモデル的に取り組んでいます。